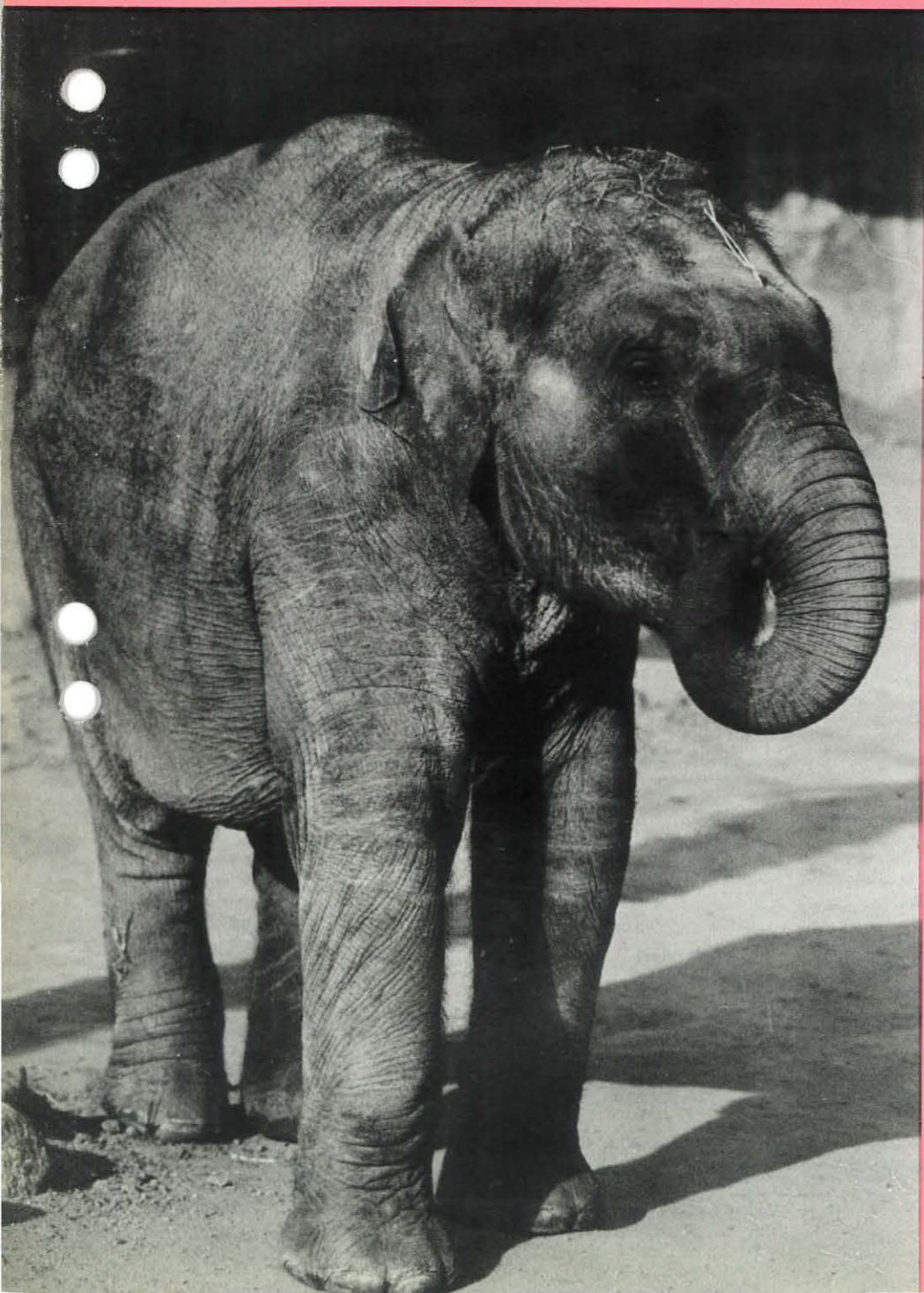


なきごえ



1971

6

大阪市
天王寺動物園協会

ゾウ

長鼻目

「ゾウさんゾウさんお鼻が長いね!!」と歌う幼児達はこの歌にゾウの偉大さをたえながら、親しみを込めています。

それはゾウの体が大きくて逞ましく立派であるばかりでなく、弱い者いじめをしないところがその憧れの的となっているのではないかと思います。特にインドゾウはそのすばらしい力で、人の力ではどうにもならぬ重いチーク材運びなどの仕事を引き受けて苦もなくやっけてのけてくれます。

さてゾウが現在陸上で生活している動物の中で最も大きな動物であることは今更あらためていうまでもありません、このゾウは大昔には地球上で非常に栄えたことがあります。このことは各国で化石として沢山の種類が発見されていることがこれを証明しています。

しかし、現在生存しているのは、アフリカゾウとインドゾウの2種類です。この両種はアフリカとインド南アジアと地域的に分かれているばかりでなく、外見的にも明確に区別の出来る多くの特徴を備えています。

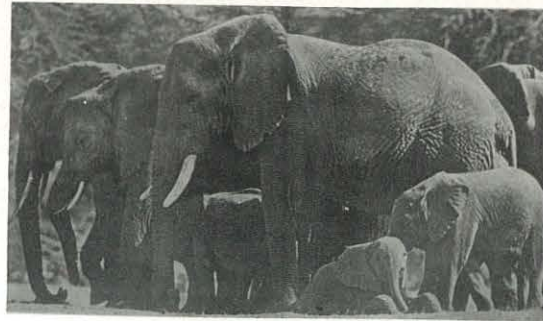
アフリカゾウは耳も大変大きく牙も立派です。生長すると肩の高さが3mを越えて体重も6ton以上にも達し、鼻長も2.4mもあって、インドゾウの4tonより1廻り大きく文字通り地上最大の動物です。

ゾウ牙は上顎の1対の門歯が生長したのですが、インドゾウはオスのみが二次性徴として立派に伸びますが、アフリカゾウはオスもメスも共に伸びメスでも1~1.8m位になります。オスは3mを越えるものが記録せられています。

この牙は攻撃の道具に使うよりも樹木を倒すときのテコ、として主に使っています。身を護るための攻撃用としては、もつはら鼻を用いるようです。この鼻は筋肉によって出来ていて、屈伸自在で食物を口に運ぶのに使いますが、水を吸い上げることも出来るのでゾウは鼻に一度水を吸い上げて口に運びますが、吸い上げた水を体に散布して水浴のときのシャワーの役目も果たします。一見太くて小廻が効かな

なきごえ6月号もくじ

ゾウ	2
仔象を飼育して「ラニーひろこの1年」	3
動物園グラフ	4・5
あるベイサ・オリックスの記録	6
動物園ニュース	7



(アフリカゾウ)

いように見えますが、鼻の先は仲々鋭敏で10円銅貨位のものでも上手につまみ挙げることが出来ます。

私達がゾウに近づくと先づ挨拶にあの長い鼻がニューと伸びて来て私達の体をたしかめます。そしてポケットなどに好物のビスケットの嗅などを嗅ぎつけると、ポケットに鼻を差し込んでくれます。

ゾウの化石は日本でも瀬戸内海や関東地方などにも多く発見されていますから、大昔には日本の各地をのそりのそりと歩き廻っていたことが分かります。

現在地球上に生存している2種類では、アフリカゾウはなれにくいので、使役に使われていませんが、インドゾウは、家畜同様に用いられ、森林で重いチーク材の運搬には現地ではなくてはならない存在です。又トラ獲りなどにも参加します。このゾウに白ゾウというのがあります。これは色素欠乏症といって総ての動物に現われることがある症状なのですが、特にインドではこのゾウを大変尊びます。それは宗教的な点にあるのですが、お釈迦さんが生れるとき王妃は天から1頭のゾウが降りて来る夢を見たということが伝えられているからです。

日本に初めてインドゾウが渡来して来たのは1408年、応永15年と云う記載があります。

(松岡 恵爾)

表紙の写真説明

“インドゾウ”

来園1年、体重も2倍になりました。時々広い場所で自由に遊ばせると、母親ゾウをしのんでか、ウォー、ウォーと鳴いています。

仔象を飼育して (ラニーひろこの1年)



(ラニーひろこちゃんと筆者)

昨年(1975年)の5月、インド政府の御厚意で、万博参加を記念して、生後6ヶ月の仔象が、賜呈されました。この仔象も、越冬して、入園以来1年が経過しました。私以上に、仔象は春の訪れを、待ち焦れていた事と思います。冬の間は、暖房舎で、十分な運動も、好きな砂浴びも、制限され、退屈な、長い冬だった事でしょう。春がきて、舎外へ出る機会も多くなり、青草も十分給与出来る様になりました。この1年間の仔象の成長過程を記します。昨年(1975年)の5月2日、空路羽田に到着、検疫の為、伊丹まで陸送されました。3日に伊丹に到着、私も、好物のパナナ、リンゴ、パン、大根葉を持参して迎えに行きました。仔象は狭い輸送檻の中で窮屈そうに、短い鼻を、振っていました。早速、持参した好物の餌を与えましたが、長旅で疲れているのか、リンゴと大根葉を少ししか食べませんでした。入園後、すぐ輸送檻から出して、運動を兼ねて仮設象舎まで歩きました。現地では、米飯6キロ、スキムミルク1キロ、野菜4キロ、を給与していたそうなので、早速にぎり飯を作って与える事にしました。にぎり飯は、短い鼻を上げて催促するので、私が口の中へ入れて給餌しました。満腹したのか、長旅に疲れたのか、ワラの上で警戒する事なく眠りました。40分位して起き又催促するので、哺乳する事にしました。象の乳成分と比較して、乳児用のミルクを与える事にし、哺乳具は、仔牛用の乳首を装着して行いました。一応200cc与えましたが、すぐ飲み、又催促するので200cc与えました。満腹したのか、短い鼻をまとめて眠りました。翌朝、園内に慣すために、散歩しました。園内の動物が、仔象を見て驚くのではと不安でしたが、大きな混乱もなく仔象も落ち着いて、私の後から歩いて来ました。5月5日にはインド政府と関係者、多数が参加し贈呈式が有りました。午後からは恒例の「象の目方を計る会」が催され、仔象も参加するので、南園まで行きました。計量の結果260キロでした。5月12日には激しい下痢の為、食欲なく、この日から約2週間この症状が続きました。獣医師、飼育係員の徹夜の看病の末、次第に回復し皮膚の艶も良くなり、元気も出てきました。飼料面も病気の時は果汁、おもゆ、砂糖湯等の、流動食でしたが、病後は固型物に少しずつ切替えていきました。5月20日には仔象の命名式が催され、ラニーひろここと命名されました。5月の飼料日量は、ミルク10リットル、パン2個、リンゴ2キロ、甘藷2キロ、青草2キロでした。6月に入って気温も昇り、夜間も廃温しました。6月の飼料日量は、ミルク9リットル、パン2個、リンゴ4キロ、甘藷2キロ、青草1キロでした。7月は気温も高く、日中は、水浴びを行ないました。充分なプールがないので、穴を掘って、水を貯めました。水深30センチの簡単なプールでしたが、楽しそうに、泥遊びをしていました。7月の飼料日量はミルク9リットル、パン3個、リンゴ6キロ、甘藷2キロ、青草2キロでした。8月は酷暑が続き、暇さえあれば、水浴びを行ないました。園内散歩は、早朝と夕方の涼しい時のみ行いました。8月の飼料日量は、ミルク9リットル、リンゴ6キロ、パン5個、ペレット1キロ、青草2キロ、甘藷2キロでした。9月は残暑が酷しく、水浴びを行ないました。9月の飼料日量は、ミルク8リットル、リンゴ8キロ、パン10個、ペレット1キロ、甘藷2キロ、青

草2キロでした。10月に入って夜間は涼しく、下旬頃からストーブで暖を取る事にしました。10月の飼料日量は、ミルク8リットル、リンゴ8キロ、パン15個、甘藷4キロ、笹葉2キロでした。11月の末には、待望の暖房舎(冬期越冬象舎)へ収容する事にしました。11月の飼料日量は10月と変わりありませんでした。12月には昼夜共スチーム暖房で室温18度位に保温し、屋外での運動も温暖な日しか行なう事が出来ませんでした。12月の飼料日量は、ミルク6リットル、リンゴ8キロ、パン20個、甘藷3キロ、乾草2キロでした。今年の正月には、雑煮を給与して、初めての日本の正月を味わってもらいました。冬期は運動不足になりがちですので、園内を走らせて運動を行ないました。1月の飼料日量は、ミルク5リットル、リンゴ8キロ、パン20個、甘藷4キロ、大根葉2キロ、乾草2キロでした。2月は寒冷の日が続き、運動も限定された為か、2月上旬頃、起立不能で、起きてもすぐ倒れる原因不明の症状が2週間位続きました。この間、カンフル精の湿布、日光浴の励行、粗飼料の給与、ビタミン、無機質の投与等で治療しました。

一時は、クル病、それに文献に記されて居る仔象に多発する、中風ではと心配しましたが違う様でした。運動不足、日光浴不足、狭い舎内に飼育して居た為のストレスから来た神経症状、睡眠不足と数々の悪条件が重なった為に起きた病気だったのかも知れません。3月は温暖な日が続く、運動も多く行ないました。3月の飼料日量は、ミルク2リットル、リンゴ8キロ、甘藷4キロ、パン20個、大根葉4キロ、乾草3キロでした。4月は夜間でも舎内は暖房なしで、中旬には、この暖房舎から以前収容していたラクダ舎にある仮設象舎へ移り、日中のみ、暖房舎で展示しています。この月には完全離乳し、飼料日量はリンゴ8キロ、パン20個、甘藷4キロ、大根葉4キロ、青草3キロ、乾草5キロです。5月5日には恒例の「象の目方を計る会」が催されラニーひろこも、参加しました。体重は560キロでこの1年間の増体重は300キロでした。1日平均約830グラムの増体になります。最近のラニーひろこの1日の生活を記します。午前8時30分、ラクダ舎にある、仮設象舎寝室から出て、展示する暖房舎まで散歩。9時朝食、リンゴ3キロ、パン7個、甘藷1.5キロ給与、11時、大根葉2キロ、乾草2キロ給与、午後2時昼食、リンゴ2キロ、パン6個、甘藷1キロ給与、3時半から4時半まで、サイ舎運動場で放飼、4時半、サイ舎から、寝室まで散歩、4時40分夕食、リンゴ3キロ、パン7個、甘藷1.5キロ、青草3キロ、乾草2キロ給与です。

(三浦 正明)

動物園グラフ

“ラニーひろこの1年”

インドからもらった仔ゾウのひろこちゃん。
 入園1年で、体重も2倍にもなり、元気に育っています。
 入園後、日本の気候になじまず、風邪ひきをこじらせたり
 2度の大病ものりこえて、育ってきました。
 ここで、入園から今までの成長ぶりなどを御覧下さい。



↑ 入園時
(S.45.5.3)



↑ 仔ゾウの運動場で
(S.46.4)



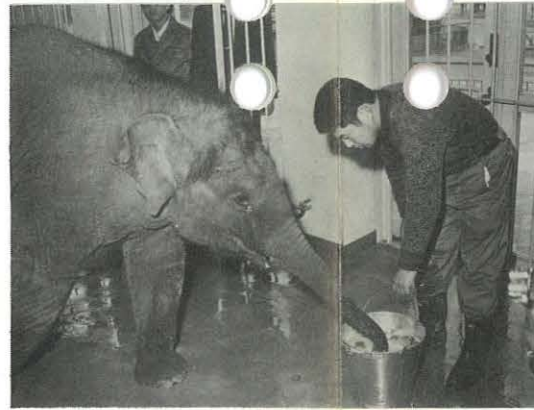
↑ 入園当初
哺乳ビンで、ミルク
を飲むだけでした。
(S.45.5)



(S.45.5.5) ↑

ゾウの目方を計る会で

← (S.46.5.5)



← お雑煮のお祝い
(S.46.1.1)



← テレビ出演
(S.45.8)



← 寄贈式
(S.45.5.5)

命名式 →
(S.45.5.20)



4～5月動物園日記

- 4/23 トビカモシカのおすが顔や頸に腫れもののできましたので、治療をしてやりました。
- 25 トラの赤ちゃんは、めす1頭と確認されました。
- 29 動物園まつりがはじまりました。
- 30 シュバシコウがふ化しました。盲学校の児童がアヒルやウサギ、ヤギなどの触察をしました。

- 5/2 有料入園者が4100人を越え、大変混雑しました。
- 3 フラミンゴの交尾が確認されました。
- 5 ゾウの目方を計る会が催されました。
 ユリ子が、3,310kg 昨年より160kgの増加
 ひろ子が、560kg 300kgの増加
 春子は、はかりに乗るのを嫌がりましてので計れませんでした。
- 6 シュバシコウは今年は、2つの単で6羽がふ化し、

- 2羽が順調に育っています。
- 10 キーウイの鳴声の録音に成功しました。
- 14 チンパンジーの夏子ちゃんの調子が大変悪かったのですが、治療につとめましたのでやっと回復しました。西ドイツの放送協会より、動物園の取材に来園されました。
- 15 サンパウロより、エメラルド・ツリーボアやツーカーン、フサオマキザルが空路入園しました。

- 16 今年もキンクロハジロが5コ産卵しています。
- 17 キングペンギンなど、冷房室に移してやりました。
- 18 サンパウロよりの動物寄贈式が行なわれました。オオヅルが産卵をしました。
- 19 キューバフラミンゴが3巣で産卵し抱卵しています。トラの子は、生後1カ月が経過しましたが、成育が悪いので、人工哺育することにしました。

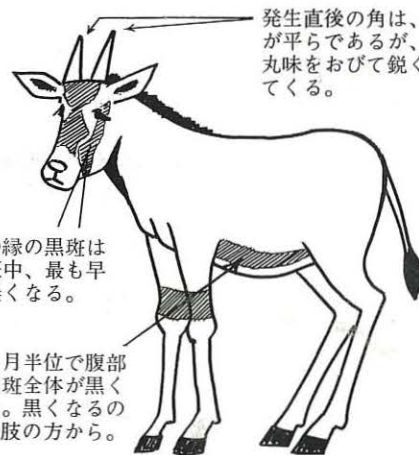
“あるベイサ・オリックスの記録”

(1971年1月15日生まれ メス モンバサ)

当園のベイサ・オリックスに、初孫が誕生したのは、今年の1月15日(成人の日)の午前10時20分でした。母親は過去に2回の出産歴がありますが、いずれも虚弱体質の子で、失敗していますので、今度は是非成功させてやりたいと思っていました。出生直後の仔は、薄茶色の体に額と目の縁の黒斑の部分が、少し黒い程度でした。そして角の部分黒く、やや盛り上がっている感じで、体高は60cm程でした。生後5日目には、角も5mm程顔を出しましたが、その先端は平らで親の様に尖っていませんでした。生後10日目になると、角は1cmになり、黒斑も出生直後より濃くなり、髪も目立つ様になりました。そして、12日目からは母親の角や尾に向かって、角突きのシグサが見られる様になりました。特に17日目からは、同居の花鹿の仔や、ブラック・バックの仔に対しても、角突きのシグサが見られました。運動は朝、8時から10時迄が一番活発で、昼からは殆んど眠っており、この間母親は、仔の2〜3m範囲に陣取り、それ以内に入ってくる物を絶えず追っ払っていました。仔は14日目に牧草をしゃぶり、17日目に、大根葉、フスマを食べ、20日目からは、親と一緒に濃厚飼料を食べ始めました。この頃になると、角も3cm位に成長し、先端も平らなのが、丸味をおびてきました。生後28日目には、角も4cmになり、仔も授乳してもらいたい時は鳴いて母親に要求するようになりました。この頃から、角突きのシグサにも変化が見られ、これまでの上から下へ角で叩く方法の他 ①前肢を折って、頭部を地面に付けるようにして格闘する、ハーテビーストによく見られる方法や、②左右に、後肢を蹴り上げながら、角を左右に振って格闘する方法が見られるようになりました。この型は威嚇と攻撃の2段階戦法のように思われます。生後1ヶ月になると、肩高は、70〜75cmになり、生後38日目に自力で排便しました。その1個の大きさは、直径7mmで、1ヶ所50〜60粒程見られました。生後40日目になると、角は8cmになり、脇腹の黒斑も後肢の方から黒くなってきました。黒斑の中では目の縁が一番黒くなるのが早く、この部分は、出生

した時から目立っていました。次いで額と鼻の上の部分が1ヶ月半程で黒さが目立ち始め、それに伴って前肢関節上の黒斑も黒くなってきました。顎の下はやや遅れて2ヶ月ぐらいから黒くなってきました。又、体色も、1ヶ月目位から灰色がかってきました。生後50日目には、角も10cmになり、2ヶ月目には、肩高85cm、角も15cmになりました。グランド放飼時に於ても、スプリング・ボックの若雄(1969年9月9日生まれ)に対し角突きのシグサをする様になりました。又、グランド(一週約200m)を30秒程度の速さで走る様になり、走る限界はグランド2周で、それ以上は、速力が大分落ちます。グランド内での、オリックス一家は、雄が若い事もあり、最年長の雌がリードしています。例えば、休憩している場合、絶えず仔を間にはさんで、敵から保護してやっています。この場合の配置は、仔の左側に母親が付き、右側に最年長の雌が付きます。この配置は全く変わりませんでした。特に母親は、雄を近づけようとせず、仔が生後2ヶ月位になって、体が丈夫になる迄、絶えず遠方へ追っ払っていました。しかし、仔が成長するにつれ、母親も雄を余り追っ払わなくなりました。仔は2ヶ月半も経つと、腹部の黒斑も、一本の美しい黒斑になり、体色とマッチして、鮮やかなコントラストを描くようになりました。そして最近では生後3ヶ月を迎えて、角も23cm、体高95cmとなり、いよいよオリックスらしくなってきました。

(葎谷 文彦)



★71年 春の動物園まつり

クイズ“鳥のなきごえ”を当てよう
当選者きまる!!

去る5月1日〜5月9日の間入園者のみなさんに投票(4才〜12才)をして頂きましたが、正解は

A うぐいす
B つる でした。

正解者は 527名で抽せんの結果下記の方に賞品を(5月16日)をお渡しいたしました。

応募数 5,197票 内訳 { 正解 527票
 { その他 2,850票
 { 無効 1,820票

当選者(敬称略) 30名

住 所	氏 名	年 令
八尾市宮町2-8-2	西 川 恵 子	4
大阪市生野区片江町6-47	西 野 珠 緒	6
大阪市東住吉区田辺1町5ノ23	石 水 裕 之	11
奈良市西紀寺町29	藤 田 正 信	12
守口市南寺方北通1-18	藤 野 玲 子	7
和泉市幸町63-2	農 端 小 百 合	4
吹田市桃山台2丁目 B 21-603	えじまかよ子	7
高槻市梶原1丁目6-22	能 田 洋 子	6
東大阪市高井西5-21 田	立 山 雄 也	10
摂津市正雀2丁目10-17	田 口 み か	6
東住吉区加美諏訪山町5ノ96	森 居 美 保	10
東区寺山町490-1 府住 200号	かわさきたかし	6
富田林市富田林町27-32	白 須 賀 拓 也	7
西成区松田町2-18	ますだかおり	5
住吉区長居町西4-5	樋 口 み さ 子	4
東住吉区平野馬場町195	植 村 味 代	11
羽曳町市高鷲4-2 25-101	そがべかずひろ	6
東大阪市北蛇草431	石 上 智 子	11
大和郡山南郡山 南部銀行内	田 岡 正 也	10
浪速区馬場町30	田 峰 孝 子	11
浪速区浪速町東3-6	佐 藤 直 美	6
東淀川区淡路本町7-729	柴 田 郁 雄	11
西成区海道町1	西 川 裕 之	12
東大阪市北蛇草601	大 塚 千 づ ぶ	11
生野区田島町1-84	後 藤 雪 子	9
阿倍野区阪南町4丁目2-13	砂 川 始 己	11
東住吉区長吉長原町224-1	春 日 恵 子	6
此花区春日出町319-7	いのうえしんさく	6
福島区中江町87	三 浦 智 子	8
天王寺区勝山通1-154	石 川 奈 都 子	11

★サンパウロの日系人から動物の贈りもの



ブラジルのサンパウロ新聞社創立25周年記念事業として、姉妹都市の大阪市に動物の親善使節が贈られることになり、5月18日、寄贈式がありました。オオハシドリ1羽、フサオマキザル4頭、エメラルドツリー

ボア2頭です。いずれもブラジルの珍しい動物たちです。

この日、ブラジルの訪日企業視察団長の河本忠志氏から大島大阪市助役に「かわいがってやって下さい」と手渡されました。

★西ドイツで当園などを紹介



西ドイツのテレビ映画の取材のため西ドイツの取材班2名が5月14日から3日間、天王寺動物園を訪れました。

この企画は1月に1回、3年半にわたって放送されるというもので、世界の動物園やマリンランドを紹介していくという。全部で39篇のうち4篇が、日本関係の動物園で、東京上野、多摩、鴨川マリンランド、名古屋東山、神戸王子、阪神パークを取材したのち最後に大阪に来園したとのことでした。

大阪では、カモシカ園や、シュバシコウのいるフライングケージ、ライオン、トラの放飼場などが大変興味があるようでした。

天王寺動物園入園ご案内

☆開園時間及休園

3月〜10月 午前9時〜午後5時
11月〜12月 午前9時〜午後4時30分
◆閉園30分前で入園券の発売を終わります。
◆12月30・31日のほかは年中無休です。

☆入 園 料

普通 大人(13才以上) 100円
 小人(5才〜12才) 20円
団体 30人以上 大人 90円 小人 18円
 50人以上 大人 80円 小人 16円
 100人以上 大人 70円 小人 14円

◇中学生は小人料金扱い
◇5才未満は無料(但し保護者添添のこと)
◇大阪市内の小学校・幼稚園の団体無料扱について
大阪市内の小学校、幼稚園の団体無料取扱は6. 7. 8. 9. 12. 1. 2月の7カ月で、無料扱を希望の学校は当園備付の入免申請書に所要事項を記の上、入園希望日の7日以前に申告し、許可書をうけ、入園当日、許可書を提出のこと。
なお団体無料扱い期間中の下見の取扱いは有料です。

☆駐車場使用料

バス 1台2時間までごとに1回 200円
乗用車 1台 1回 100円

☆交 通

市バス 動物園前下車(南門正面)
地下鉄 御堂筋線動物園前下車徒歩3分
 堺筋線 恵美須町下車徒歩5分
国 鉄 天王寺駅下車公園内徒歩10分
近 鉄 阿倍野橋駅下車 〃
南 海 恵美須町駅下車徒歩5分

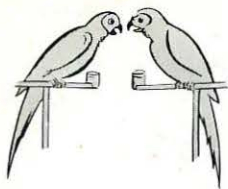
☆動物園協会よりのお知らせ

○ご入園の皆様のご便宜を計るため下記業務を経営しておりますので、せいぜいご利用下さい。

区 分	数 量	利 用 料
手 荷 物 預 り	1 コ	20円
う ば 車 貸 出	1 台	50円(保証料 200円)
車 椅 子 貸 出		無料(5・6台あるだけです)
天王寺動物園えほん	2 冊	120円
カラーえはがき	2 冊	100円
おもちゃ動物園(こどものりもの)	1 回	10円〜20円

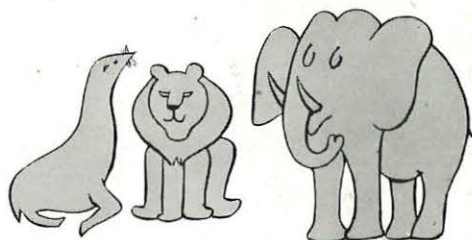
※その他 協会売店(飲食物の販売)
 入園記念メダル、団体入園写真等

ご入園の皆様さんへお願い
心ない入園者の与えるエサで多くの動物が病気になるたり死んだりします。ことに、菓子や袋ごと与えるのは最も危険でビニールの袋はお腹にたまったまま消化せず死の原因になります。又、石を投げつけたり、棒でつっこなどのいたずらは絶対やめて下さい。一人一人の注意で、かわいい動物を一日でも長生きさせてやって下さい。



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種 1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地

電話 (078)22-8195・22-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地

電話 (078)24-3494



オイシサも…

品質も…

グーンとアップ!

グリコジャイアンツコーン

●バニラ・ナッツ・チョコレート

30円50円

★とろりとした
良質のチョコレートに
ナッツがかかっている!



グリコ アイスクリーム

江崎グリコ株式会社